





※総体予算額51億5,800万円、一般会計19億2,000万円弱は、年度なかばにして、すでに前年度より総体で2億8,000万円、一般会計で3億4,000万円弱多くなり、予算規模がはじめて50億円台にのつた点で特筆できます。今年度、市民センターについて特別会計を新設、初年度1,700万円を計上しました。これで、特別会計は、9会計を数えるに至りました。加藤市長就任初年度の予算その内容は、これまで、本広報紙上に説明してきたとおりです。

今年度予算について、さる6月市議会で、加藤市長は、①教育施策と都市計画および一般土木事業の促進に重点をおきつゝ、②保健・環境衛生、治安・民生対策、新市産業振興計画などを柱とするもの、と態度で運営にあたることをあきらかにしましたが、同時に「昨年度に着手している懸案事業一々なかでも市民センターの建設、し尿処理場の建設、新火葬場の建設、文化密約の立地交渉、新市庁舎の建設など、平塚市は、

予算10億ずつ上昇

まず、昨37年度の決算では、①一般特別各会計を合算した平塚市の総体予算額は、収支とも48億6,800万円を計上した。②これに対する実際の収入は、予算額の102・3パーセントにあたる48億8,000万円にのぼり、予算より2・3パーセント多くはいつた。③反面支出決算額は、予算の98・7パーセントにあたる48億8,000万円であつた。と発表しています。

※37年度予算額48億7,000万円弱は、その前年度より10億円多く、5年まえの昭和33年の2倍、昭和30年当時の総体予算額の2・8倍にあたるものです。また、昭和33年度はじめて16億円台から飛躍して24億円台についた総体予算額は34年度25億円、35年度23億円とつづいたあと、昭和36年度からこのところ、毎年度10億円単位の増高を示し、36年度38億5,000万円、37年度48億7,000万円弱となり、現38年度はすでに、年度なかばで51億円台にのっています。この急激な予算規模の増大は、①経済事情の変化と工場の進出などを要因として、5年間に2・5倍の比率を示した税収のいじりしい増加と、②競輪競馬事業の収益が倍増したこと、③建設事業の拡大などにもなつて国や県からの交付金が大きくなったことなどによるものといわれ、主として自主財源の充実に支えられるものだと言明されています。

このような事情のなかで、37年度の収入決算額が、予算を上まわつた事実は、財政内容の好転を裏証したと感ぜられていきます。(グラフ①参照)

収入—予算の106%

77年度一般会計の収支では、①予算額15億8,000万円に対し、実際の収入は、16億7,000万円と収入率は106・1パーセントをかぞえ、予算より6・1パーセント9,600万円ほど多くはいつた。

②支出決算額は、予算の98・7パーセントで、市庁舎建設関係で、事業の一部繰り越しを出したほかは、ほぼ完全に予算の消化ができた。③この年度投資的経費は支出決算額の46・6パーセントで、内容は別表のとおりである。④この結果、この年度1億4,800万円の残額を生じ、38年度の財源にまわした、と説明しています。

※予算総額の急激な増高は、一般会計についても同じようにいれ、昭和30年当時4億円台だった同会計は、37年度16億円にちかつき、当時の3・4倍、5年前33年度の2倍強となつています。

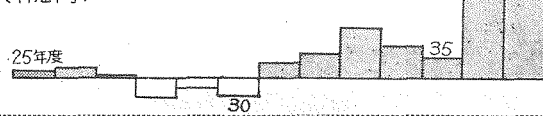
このなかで、建設事業につき込んだいわゆる投資的経費は、37年度に7億1,300万円にのぼり予算総額の46・6パーセントと、ここ8年間で2番目の高率を示しました。投資的経費は昭和30年度に1億6,500万円(予算総額の36・6%)、5年まえの33年度に2億8,900万円(37・9%)、最近もつとも高率を示した34年度に4億2,600万円(48・8%)でした。県の財政統計によると37年度の普通会計内における投資的経費は全県平均で39・9パーセントであり、これに対して平塚市は51%にのぼると発表されています。普通会計とは平塚市のはあい、一般会計のほか、特別会計都市改道事業費や同市民センター費などがはいつた額ですが、これでもあきらかのように、37年度における投資的経費は、全県平均を11・1パーセントこえるものです。(グラフ②参照)

※37年度一億4,800万円をこえた、一般会計の収支残額はいままでの最高ものです。ちょうど10年まえ、昭和28年度から3年間、平塚市一般会計の繰りには、2,000

収支の安定ムード強まる

投資的経費全県平均の11%高
国保会計のみ困難な運営続く

財政課は、昨年12月1日、昭和37年度全期と昭和38年度前期(4-9月)の市財政事情を公表しました。今期財政事情で中心となるのは、決算の結果をまとめている37年度全期の収支状況で、このなかでは、①前年度平塚市の予算規模は一般・特別各会計合算で48億6,900万円を計上、その前年より10億円多かつた。②この収支は、収入102・3パーセント、支出98・7パーセントであつた。③一般会計の収支も同様の傾向を示し、計画事業の完全実施をはかつたにもかかわらず、1億4,800万円の単年度赤字を出した。これはいままでの最高である。④一般会計のなかの投資的経費は46・6パーセントの高率であつた。⑤特別会計も全般に良好な運営をとり、とくに収益事業の好調がめだつた。⑥国民健康保険会計だけは、被保険者の減少と支出増大の板ばさみになつて困難な運営をした。などの諸点がめだつています。38年度前期分の財政事情では、①市長交代後、当初の骨格予算におおはば追加予算を行ない、今年度平塚市の総体予算規模は51億円台となつた。②収支状況は安定をみせている、などの点が強調されています。

グラフ3・一般会計の赤字と黒字
(1億円)

万円台の不足額が生じ、赤字財政に落ち込んでいました。その後31年度から財政の自主再建が成功し、収支残額は年々1000万単位で生ずることとなり、36年度から、1億4,000万円台の剰余金をもつて運営するに至つたものです。その金額はちいさくとも昭和30年代の一般会計予算額は4億3,000万円程度でしたから、同年度に生じた収支不足額2,300万円は、5・4パーセントにあたるきびしいものでした。反動に37年度決算の繰りこめられた残額は、同年度決算総額の8・8パーセントにあたります。投資的経費の増高と単年度剰余金の激増の傾向は、財政収支のうれで大きな安定感となつてあらわれています。(グラフ③参照)

収益事業の好調続く

77年度特別会計は、競輪・競馬・国保・診療所・簡易水道・都市改道・馬入工業地帯造成・農業共済の8会計でした。この年度に、農業共済事業の市営が実現して農業共済事業が新設されました。この特別会計について財政事情は、①競輪事業は6日制を6回開催、売り上げは上昇して、2億7,900万円の収益をあげ、建設事業の財源にあてた。収支決算額は16億円台で2,000万円弱の収支残額をもつて運営した。②競馬事業は2回開催で1億5,600万円の収益をあげ、建設事業の財源とした。収支決算額は13億円台で1,200万円台の収支残額をもつて運営した。

③国民健康保険事業は、加入者の減少傾向と反対に、受診率と医療費が増加し、財政運営を困難にしている。このため1億800万円の支出決算額のうち、一般会計から1000万円の財源をまわして運営した。④国保診療施設事業は、一般会計から45万円を補充、249万円の歳出決算額をもつて無医地区の城島診療所を運営した。⑤簡易水道事業では、土民の上水道簡易水道の拡張工事を完成させ吉沢地区の簡易水道新設事業を行なつたほか、金目・旭・岡崎・城島・上郷各地区に給水を続け、収支決算額は5,000万であつた。この会計に対しても、一般会計から150万円の財源補充を行なつた。⑥都市改道事業では、市が事業主体となつてすすめている本宿・馬入・須賀北・須賀南の各工区の土地区画整理第3年次事業を行ない収支決算額は6,800万円であつた。この会計は収支残22万円をもつて運営した。⑦都市計画馬入工業地帯造成事業は、日本住宅公団が買収した工業用地を中心

とする相模川右岸の54,000平方メートルを区画整理する事業だが、そのうち37年度に第3年次事業を行ない一応当初計画を完了した。この収支決算は4,900万円で、15万円の収支残で運営できた。⑧37年度から、市が農業共済事業を引き受けることになつて、年度中途から新設した農業共済事業会計は収入720万円、支出680万円で決算、収支残38万円でしめることができた。と報告しています。

※37年度特別会計のなかではまず競輪競馬事業の好調がめだちます。

ここ5年間の統計でみましても、33年度から35年度まで、車券売り上げが7億から9億だった競輪は、36年度12億6,000万円、37年度15億3,000万円とひび、競馬事業の方も、34-35年度4億から5億だった馬券売り上げが、36年度一挙に10億5,000万円の大会にのり、さらに37年度13億7,000万円に飛躍しています。この結果、両収益事業が一般会計へ繰り出した建設事業のための財源は、34年度まで1億5,700万円台だったものが、36年度3億6,000万円、37年度は4

億3,000万円台と上昇しています。※馬入工業地帯造成事業がひとまず当初の計画を完了、工場進出を受け入れるようになったこと、農業共済事業が市の手で運営されることとなり、同特別会計の新設をみたことも、この年度でめだつ点です。

※国民健康保険事業だけは、景気上昇とこれにともなう雇用の増大を反映して、国保の加入者が他の社会保険に流れ、被保険者数が漸次減少する傾向をたどり、その反面受診率と医療費が相当の増高を示して苦しい立場におかれています。

国保被保険者の減少は34年度からおこり、35年の1,700人を最高に毎年1%から4・2%のはばで減り、その累計はここ4年間に4,239人にのぼります。これに反比例して、国保から支給した保険給付額は、33年度4,700万円だったものが、34年度に6,000万円台にのり、36年度7,800万円、そして37年度は9,400万円に達するというふれ方を示しました。国保にはここ5年間の間に加入者が9・5パーセント減少、保険給付支出は2倍となつたという現象がおこつたわけです。

このため、国保特別会計は独立採算が不可能となり、35年度116万円、36年度600万円、37年度1,000万円を、いずれも一般会計からまわして運営しており、この傾向は今後さらに深まろうをみられてい

償却資産の申告期限

1月31日

市長
成した
今度財
います
改選を
として
長から
と9月
行なつ
末にお
会計で
(9金
ばり、
51億5

37年度決算にみる
財政事情

グラフ2. 漸増する投資的経費

17億(支出総額の31.5%)

31年 17億(支出総額の31.5%)

33年 2.9億(37.9%)

35年 4.1億(44.5%)

37年 7.1億(46.6%)

各小学校でいつせいに健康診断

今春の修業へあつて、うがいの
一五〇）か、まゝの支出、出
張所へお知らせ下さい。
健康診断の日程は次のとおりで
健康診断と同時に、居宅の健
康相談、就学指導を行ないま
すので、該年度は必ず受診するよ
うにしてください。

崇善小 三十日と三月
港小 大台と十七日
港小 小校 二十日
富十尾小 校 二十四日
花水小 校 二十八と二十九日

吉村相談員

県下の改正になつた
栗下三十四名の麻薬取締員が
生 平塚市では、平塚一三八
村 武が任命された。麻
村 相議員は、中毒患者の正指導
就業のあせん・職業指導など
について、各関係機関の連絡に
なるほか、麻薬に關するいろいろ
な相談に、麻薬に關するいろいろ
な相談を受ける。麻薬中毒や
販賣の開者がいて困っている
あひなく、ぜひご相談下さいと
言つた。吉村 武式重子・吉村信
吉村 武重子、西仲町町内長、保
店町、富岡町地区美里会、保
進委員長、佐賀三十一、春
日野の二八副会長等が来て、
ついで、電話一七九

る老人だけ
の家庭を訪問し、食事やそうじ・
洗たくなど日常生活の実際の手が
すけをするほか、生活や身の上の
相談相手となり助言者ともなるもの

る老人だけ
の必要があるとお気づきの方が
やそうじ。 おられたときは、民生委員にお伝
えください。
実際の手だ
え身の上の
ともなるも

[illegible]

旭小學校	三千百
大野小學校	二千七百
中原小學校	二千八百九十九
豐田小學校	二千四百
神田小學校	二千九百
城島小學校	三百
岡崎小學校	三千百
金田小學校	二千百
土屋小學校	二千四百
吉沢小學校	一千七百七十三
金田小學校	二千七百七十三

を覚えていただくことが第一)

④外国人の子で、市立の小学校へ入学を希望するばあい、(この場合は、外国人登録証明書と印が必要です)。

入学をまえに、お手の子に、どんな準備が必要か、学校教員課の指導事務の助言を原則にのせ、ききまわらば、これを参考に、子どもたちが、学校へはいるというようにびと夢を大きくもつて、みなんでころみてくさい。

たすけあいの品物を贈る……

▽歳末たすけあい運動で直接福祉事務所へ寄託されたもの……

啓一氏五万円、岩崎千三年成瀬川口平八氏六万円、鎌倉市森田伸一・石津清恵各一千元。

三野町、長細柳吉氏六千三百三十三円、相互銀行平家孝史、皆長山口貞久氏千円、東海大学後援会律氏一千元、横濱ゴム、柏木成興氏ほか各名千円、平岡市救済会、田正雄氏一万円、平家新沼平次氏五千五百円、土

九百九十八件、石油ストーブ使用七千四百件、プロパンガス使用二千三百六十六件で、石油使用が二七・一パーセント、プロパンガスが三〇・九パーセントにのぼり、全世帯の約半数前後が石油かプロパンガスを使っていることがわかりました。

○消防本部では、石油やガス器具の使用に十分な注意がとられ、火災の発生を防止するよう呼びかけています。

案例では灯油を二百リットル未満、重油は四百リットル未満を貯蔵する場合には、てきめています。

灯油重油をドラムかんで屋外へ搬出は、周囲三メートル以上の範囲に搬出しなければなりません。空の鉄板張の防火戸を閉めます。また、消火器一個を置く

教育課へご連絡ください。

次のような場合は、直接学校へお問い合わせください。

- ①言：ろう学校へ入学する場合は、**耳聾科専門医**の診断書と、世帯主の印が必要である。
- ②入：入学できない子、入学を一年増くさせたい子をお持ちの場合は、**入**の欄に記入する。
- ③私立：私立小学校へ入学する場合は、**入**の欄に記入する。

年の瀬に愛
の品わける
めぐまれない家庭
かい心を——十二月の
行なわれた歳末たすけ
動には、たくさんのせ

あたた
つばい
あいの運
金と品
ありとくごいました。

あたたかい
にころ



心からのお礼にみえて、福祉事務所へ寄せられた寄付寄金を報告します。

▽生活に困っている人へ……

松島町 尾島春香氏 一千元、桃沢町 波多野美夫氏 一千元、黒塚丘

灯油保存の
を考えよ
世帯の半数が
○：消防本部が秋の火災予防の安
運動でしらべた二万六千八百世して

方法

う

石油がガス使う

全な貯蔵のための手引きと
ぜび基準にあてはまる説

茶加藤に優秀賞

ことしは六十六店が参加

「お入り入覽がきまりました。」

▼優秀賞、茶加藤平
ツブ、中沢商店。

A地区
 優秀賞
 優秀賞・くぼた賞

旭隆呉服店、東海製茶、ハルタ

眼鏡店。▼佳良賞・本杉靴店、良賞・石井フーdstアール

マロニエ、大塚屋、カネタヤ袍水台）、旭商会（平塚）、▼待

店、オザワ、きねや本舗、片山
良實、猪俣時計店（平塚）、内

▼努力賞・春月堂本舗、ナカシ、田百貨店(馬入)、イワタカマ

マ、音楽堂楽器店、サクラ書店
ラ店（平塚）、▼努力賞・さが

みどりや洋服店、共和楽器、浦
わ菓子店（平塚）、アツマ電

川屋、ペンダツク尚和堂、府川
商會（花水台）、林時計店（平

時計店、アサヒ電気、片野屋、
椽新宿。

務所に、これに、市の顧問
 を加へ、十二月二十日
 保護施設、未帰省留守家
 身身体障害者など、一千五百
 十名を贈りました。結果報
 紙、二月号紙に上りました。
 ありとうございました。

あたにかい

心からのお礼になれて、福祉事務所へ寄せられた寄付金多額報告します。

▽生活に困っている人へ……
 財団法人海壽氏一千円、橋渡町野馬毒氏一千円、黒田丘山口平八氏八百円、鎌倉市森田君氏五百円、崇善小年成順伸・石津清一郎二千円。
 △被災した運動会直後福祉事務所へ寄託されたもの……
 立野町会長岡崎喜吉氏六百三十円、日本相互愛護会平家友店山口貞一氏五千円、東海大学藤元充雅氏一千円、横浜組柏成誠氏六百六十六円、平家實徳組合五十円、諏訪町小牧氏三千円、日本印刷教団平塚教会千円、片岡印刷従員一同一千七十七円、富厚見地区社交ダンス愛好会千円、中国園保寿院院長松久三郎、高橋穂氏千円。
 専根本 栗沢ベビーベット一組、ハチ中流子さんバニールズ、白粉加藤昌孝さん全衣類十一点、陽分石丸トキエさん全衣類十三点、万葉堂唐雜雑百圓平塚大城子さん全布巾二十点、中里稲田トシユキ全衣類一包、須賀川連花全衣類一包、八幡内ふくみ全衣類五五点、関谷の人かき廣広卡。(十二月十五日まで)。

医師・薬剤師の方へ

十五日前までに状態報告を
 県保健保健所で、医師、歯科医師、薬剤師は、十一月十一日現在迄の状況を、親の有無にかかわらず、今月五日までに、平家保健所へ届けるよう求めています。法律のきまりにより、これらの人は、毎年、保健通を通じて、厚生省宛てに状態報告したいので、厚くお願いいたします。開け出用紙には、保護記もあります。

灯油保存の
 を考えよ
 世帯の半数が
 ○：消防本部秋の火災予防の安
 運動にしろれた。万六千八百世し
 帯のうち、石油コンロ用千
 九百十八件、石油ストーブ使
 用七百四十件、プロパンガス
 五百三十九件、石油ストーブ
 使用二百九十九件で、石油使
 用が二・七パーセント、プロ
 パンガス使用が〇・九パーセ
 ントにのぼり、全世帯の半数
 前後が石油かプロパンガスを使
 っていることがわかった。
 ○：消防本部は、石油やガ
 スの賢明な使用に
 十の注意がの
 る。それらのほ
 まるんだが、石
 油コンロ、石油
 ストーブ、石油
 燃焼の保存、貯
 蔵についても火
 災予防上安全方法を考へても
 わねばならぬ、と言っています。
 たとえば、台所の石油コン
 ロを使っているものの下に石油
 油がたれ漏れなど、コン
 ロの近くに燃やさないものを置
 かねば、万一コンロが燃えたら
 ま油を絶対しないこと、石油
 石油コンロを燃やさない人が自
 と注意すべき。
 ○：平家市火災予防条例には
 石油の貯蔵の量と貯蔵について
 次のとおり定めています。条例
 違反する罰金とせらるるか
 さいで、ごまかなく石油類

方法

う

石油がガス使う

の全左図解のための手引きとせむ基準にあらはる脱てきめています。

場合、周囲以上のがなければなりません。空ないときは、不燃用倉庫す鉄板製の防火をくまます。また、消火器一個を置き小量危険物取扱所の要領が必要です。消火器は型がいり十人以上のものが必要だ。

ラムかを物置のみなど場合、その部分の内部アルタリ線りか鉄板張りとし鉄板製でつきます。

業務用の液体燃料の使用、特別条約の基準がある油貯蔵、石油類貯蔵や、ご相談ください。一般の家には、灯油のかん所蔵のふくかけ、必要だけの安第一に使っていた安全部では力

の全左図解のための手引きとせむ基準にあらはる脱てきめています。

場合、周囲以上のがなければなりません。空ないときは、不燃用倉庫す鉄板製の防火をくまます。また、消火器一個を置き小量危険物取扱所の要領が必要です。消火器は型がいり十人以上のものが必要だ。

ラムかを物置のみなど場合、その部分の内部アルタリ線りか鉄板張りとし鉄板製でつきます。

業務用の液体燃料の使用、特別条約の基準がある油貯蔵、石油類貯蔵や、ご相談ください。一般の家には、灯油のかん所蔵のふくかけ、必要だけの安第一に使っていた安全部では力

これは、平塚に駐在する新聞記者・放送記者の目にうつった平塚の一面である

神田、土沢の四校のほか、平
 家商高がなくて、卒業式は併
 校の倉庫で用ひてゐる。未だ
 校の設備を完成するまで、
 この校舎を暫く用ゐるため
 講堂（二百二十平方尺）を
 切取り各企業の出で、急を
 人に人があふた。野小の鉄筋
 本館（二千四百平方尺）、三
 五坪）は、築費が二万四千
 統籌で施工する防三閣建
 本館（二千六百平方尺）、本
 土沢中の鉄骨を建てる
 ほか、千五百、千六百、千
 ついて四層目を開きされる
 幼稚園、鉄筋平屋で四百十
 高麗鉄筋と石を混用する
 この事で特別教職は十二、三
 普通教職は六、七、八、九、
 ふたつ、さらに年度は花は
 小講堂、百五十坪、旭小の
 命や春野中の特別教室など
 校の建設工事の専事である。

普通教室難を脱皮する平塚の教育

神田、土沢の四校のほか、平
 家商高がなくなり、卒業式は併
 校の倉庫で用いられた。

この校舎建替を促すため
 講堂（二百二十平方尺）を
 教室（二百二十平方尺）と
 切り、各企業の出で、急
 に入りがあふた。野小の鉄筋
 本館（二千四百平方尺）、
 五平小の、祭壇が二千年
 統幕で施工する防三閣建
 本館（二千六百平方尺）、
 土沢中の鉄骨建屋建て
 は、かく、きく、豊田
 ついで四番目に開成される。

幼稚園、鉄筋平屋建て四百十
 高麗院、五平小と右見する
 この事で特別教職は十二、三
 普通教職は六、七、八、九、
 ふれた。さらに年度は花
 小講堂、吉沢小、旭小の
 命や春野中の特別教室など
 校の建設工事の専事事も、三

(東京新聞記者)

今月の筆者……
 羽 太 長 治
 (東京新聞記者)

※ 21日 旭 公民館 吉沢小学校
※ 27日 岡 簡 易 協 中原小学校
※ 28日 東中限公民館 田村公民館
一判定とBCG接種日一
1月10日 金目小学校 土屋小学校
※ 16日 富士公民館 金田小学校
※ 22日 城島公民館 豊田公民館
※ 23日 旭 公民館 吉沢小学校
※ 29日 岡 簡 易 協 中原小学校
※ 30日 東中限公民館 田村公民館
■ 圖時間・各会場と午後 1 時30分～3 時まで

結核に対する抵抗つける

[illegible]

衛生課は、1月8日から、結核予防のツベルクリン巡回接種にはいりました。対象児は昭和38年4月2日から38年6月までに生まれたお子さんです。接種後1月10日から巡回接種判定を受けるい、陰性の人にはBCGを接種して、結核に対する抵抗力をつけます。このため衛生課では、判定もかならず受けるようよくに呼びかけています。°なお自然腸転をした方は保健所で無料健康診断を受けることができます。今回の巡回接種は

無料です。

●巡回日程……………

ツベルクリン判定もかならず受けよう

新有権者の感想文募集

[illegible]

自治省・選挙管理委員会連合会・公盟選挙連盟

608